

# Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2009  
平成21年

3.15

	目次
あかばねロコステーションオープン	2
広報サポーターだより 目指そう！里山の達人!	4
田原中部校区	6
学校は今…自然を生かし 自然から学ぶ	7
たはらしティニュース	8
田原市民活動支援センターのページ	9
お知らせ	10
連載コーナー	12

春の便りを  
お届けします!



3/26<sup>木</sup>

「道の駅」

# あかばねロコステーションオープン



**あかばねロコステーション**  
 ☎45局5088 FAX45局5089  
 ※電話およびFAXは3月26日(木)から利用できます  
 ▶問い合わせ先 商工観光課 ☎23局3516

観光や産業振興の拠点、また市民の憩いの場として、「道の駅」あかばねロコステーションが3月26日(木)にオープンします。これは「田原めつくんはうす」「伊良湖クリスタルポルト」に続き市内3番目となる道の駅で、地域の活性化も期待されます。

**■オープン当日のイベント**

- ・ 式典 午前10時30分〜
- ・ 和太鼓演奏(和太鼓集団龍宮) 正午〜
- ・ 餅投げ(景品付き) 午後0時30分〜



●あかばねロコステーション  
 駅長 富田祐基

こんにちは。駅長の富田です。駅前にはサーフィンのメッカとして知られるロコポイントが広がり、施設には白い砂浜や太平洋を一望できる展望デッキを備えています。遠方からのお客様はもちろん、市民の方にもお気軽にご利用していただけるように努力していきたいと思っております。皆さん、ぜひお越しください。

みんな遊びに来てね!



キャラクターマークのカメファーくん▲

● ● あかばねロコステーションのご案内 ● ●



- ▶ **施設概要** 観光情報コーナー、物販コーナー（海産物、青果物など）、お土産コーナー、レストラン、サーフショップなど
- ▶ **営業時間** 午前9時～午後5時（ただしレストランは、午後8時30分まで） ※オープン当日は除く
- ▶ **定休日** 年中無休



▲完成間近の「道の駅」あかばねロコステーション

# 地域の魅力満載のテナント

テナントには、農産物や海産物を販売するコーナーをはじめ、赤羽根在住のプロサーファーが店主を務めるサーフショップ、地産地消を心がけたレストランなどが立ち並びます。ここでは、オープンに意気込む店長・店主の声を紹介します。



● **青果物**  
店長 彦坂泰孝

夏はメロン、冬はイチゴと、季節のフルーツ販売やフルーツ狩りをお楽しみいただけます。太陽の光を浴びた元気いっぱいの田原のフルーツを、市内外の皆さんに味わっていただきたいです。



● **海産物**  
店長 小久保知弘

小さなお子様からお年寄りまで、安心して召し上がっていただけるような製品を販売しています。隣接する工場では、釜揚げしらすの製造風景をご覧いただけますので、ぜひお越しください。



● **レストラン**  
オーナー 堀康

地元産野菜などの新しい食べ方を提案し、おいしさも再発見していただけたらと思っています。食を通して、皆さんに笑顔をお届けできるレストランを目指して頑張ります。



● **サーフショップ**  
店主 杉原康幸

サーフボード販売のほか、初心者の方も安心して参加できるサーフィン教室も開催します。海で遊び、自然の偉大さや大切さを学びながら、自然豊かな田原と一緒に体感しましょう。



広報サポーターだより  
**目指そう！里山の達人！**

こんにちは。広報サポーターの中村都祁子です。田原市では、里山づくりの人材を育成するために「里山保全アドバイザー養成講座」が開催されています。平成18年度から始まり、すでに92名の方が講座を修了され、各所で活動されています。今年度は第3回目で、全8回の講義と実技(平成20年7月～12月)を行い27名が参加しました。今回は、私が講座に参加した体験をレポートします。



**1**  
回目

開講式と講話  
**「渥美半島の自然と歴史」**



開講式の後、田原市博物館学芸員と東三河農林水産事務所林務課の方から講義を受けました。地域の自然についての解説を聞き、あらためて里山保全の意義を感じました。

平成20年7月11日(金)

**2**  
回目

夏の自然観察会



「暑い中の山歩き!」と聞いただけで、脱水症状、熱中症などを次々と想像。当日は「汗をかくのはメタボ対策には最高」と言う参加者の声を聞きながら、できるだけ講師のすぐ後ろについて登りました。植物や景色の説明を受けながらの観察会でした。

平成20年8月3日(日)

不思議な長いつる植物の実を発見(テイカカズラの実)▶



**3**  
回目

里山保全活動報告



「里山保全実践活動報告」と、渥美半島の樹木や森の調査報告、絶滅が心配される樹木、外来種の繁殖対策などの講義でした。

平成20年8月29日(金)

**4・5**  
回目

里山の調査法と  
 保全計画



里山の安全管理



講師の方から初めて目にするような測量の器具などを見せてもらい、興味深く学びました。その後「衣笠学習の森」へフィールド調査に出かけました。

平成20年10月11日(土)

**4**  
回目

里山の調査法  
 と保全計画

台風のため休講  
 (次回へ日程振替)

平成20年9月19日(金)

▶里山保全についてのお問い合わせ  
 公園緑地課 ☎23局4103



## 講座修了者のお宅訪問 創作里山ガーデン“花空間”

小林孝子さん・孝義さん宅(片浜町)の創作里山ガーデン“花空間”は、白谷から片浜にかけての三河湾が一望できる所にあります。2年ほど前までは、雑木の生い茂る山林だったそうですが、携帯電話の塔建設がきっかけとなり、ガーデン造りの計画が始まったのだそうです。

創作ガーデン“花空間”は、山の入り口から中腹まで季節の草花や球根が植えられています。アーチやテーブルなどが設置された憩いの広場では、孝子さん主催の「森の音楽会」や「よせ植えの会」なども開催されているそうです。また、孝義さんは、山の中腹にお好みの樹木を植樹し、四季感豊かで夢のような設計を一つ一つ進めています。お二人の話によると、お互いが好きなように作業を進めていくうちに、共通の思いのこもった“花空間”に仕上がっていくのだとか。集まった野鳥が木々の間を飛び交う“花空間”。訪問した私もそこに座らせてもらいました。何とどのかな、贅沢な空間でしょう。

お二人は、今後も里山保全アドバイザー養成講座で学んだことを生かし、専門的アイデアを取り入れた活動を進めていくそうです。



◀ 創作里山ガーデン  
“花空間”

今回の講座では、実際に講義を受けたり、現地体験をしたり、里山保全について楽しく学ぶことができました。また、とても地道で根気の必要な活動だと分かりました。

現在、講座修了者の方々による「サンテパルクたはら」「衣笠学習の森」などの里山保全活動への参画が始まっています。そして「きのこの菌打ち体験」「市民緑花まつり」へと、ネットワークも広がってきています。

この「里山保全アドバイザー養成講座」は、平成21年度も開催されますので、皆さんもぜひ参加してみたいかがありませんか。



\*写真撮影  
中村都祁子・公園緑地課

6  
回目

## 秋の衣笠自然歩道 自然観察会



▶ 滝頭山「恐竜の背」からの眺望

たはらアルプストレッキング展望コースを、滝頭山の「恐竜の背」から下山。ツツジ科植物群落地を望みながらの下山は、夏山とはまた違った爽快感を味わうことができました。

平成20年11月2日(日)

7  
回目

## 森林作業と安全管理



▶ 衣笠学習の森での作業

頭にはヘルメット、腰にはノコギリを付け、現場に立ちました。津具森林組合の方々から木を切る時の指導を受けた後、チェーンソー操作を体験。私も直径25cm程の立ち木に挑戦しました。緊張感一杯でしたが、無事に倒木できた時には、周りの方々や自然に感謝しました。

平成20年11月24日(振)

8  
回目

## 修了式と意見交換



修了式では、修了証の授与と講座の体験談や今後の抱負、たはら里山の会の活動などについて意見交換を行いました。

平成20年12月12日(金)

# 田原中部

●田原城跡(桜門)

## 基礎データ

【人口】6,880人(H21.1.31現在)

【世帯】2,505世帯(H21.1.31現在)

【面積】約319ha

【公共施設】田原市役所・田原市博物館・中央図書館・  
田原文化会館・田原市総合体育館・田原まつり会館

【史跡・文化財】田原城跡・華山神社・報民倉

【主な産業】商業

## 校区の概要

田原中部校区は、大きく分けて「巴江町内会」「萱町」「本町」「新町」の4地区からなっています。市内20校区の中で最も面積が小さい校区ですが、人口は最も多い校区です。古くから田原市の歴史・文化・経済の中心地として栄えてきました。田原藩の繁栄に貢献した渡辺華山は、田原史の中で最も重要な偉人であることは、皆さんご存じのとおりです。



●渡辺華山像(池ノ原公園)

## 田原城周辺

文明12年(1480年)ごろ築城された田原城。長い歴史を経て、現在は石垣や堀、土塁が残っており、桜門と二ノ丸櫓が復元されています。田原市博物館では、渡辺華山や田原藩の歴史を知ることができます。また、田原城跡周辺の散策は、城下町(おむき)の趣にあふれ、桜の咲く春(ふぜい)の風情は見事です。

## 田原祭り

「からくり人形」を載せた山車で知られている「田原祭り」。街を練り歩く萱町・本町・新町の豪華な山車は、市の有形民俗文化財にも指定されています。子どもが手踊りを舞う夜山車や、打ち上げ・手筒・大筒・仕掛け花火も披露され、毎年多くの人でにぎわいます。

●山車3台の集合



## はなとき通り

おしゃれな街並みの「はなとき通り」では、夜店やイルミネーションのライトアップなど、さまざまなイベントが開催され、楽しみながら散策することができます。



●はなとき通りのイルミネーション

## セントファーレ

中心市街地にある複合商業施設セントファーレは、にぎわいの拠点となっており、毎日多くの買い物客やスポーツジムの会員が訪れています。

●セントファーレ



## に・七の市

「2」と「7」がつく日に開かれることから、「二・七の市」と呼ばれる朝市です。早朝から、地元で採れた新鮮な野菜や切り花などが販売されています。

(文:田原中部校区)

●二・七の市





# 学校は、今…

SCHOOL REPORT ⑧  
自然を生きし  
自然から学ぶ

田原市は、海や山、森や川など豊富な自然に恵まれた地域です。子どもたちが地域の自然に親しみ、自然に学び、自然を大切する取り組みをご紹介します。

●指導課 ☎ 23局3679

## 楽しい潮干狩り (泉小学校)

春恒例の「海岸清掃・潮干狩り」は、40年以上続いている行事です。海岸清掃は1年生から6年生までの縦割り班で行い、ごみの分別や運搬はPTAの方に協力していただきました。今年度のごみは、トラック7台分もありました。清掃の後、子どもたちは、おにぎりをほおぼりながら、PTAの方が作ってくれた熱々のあさり汁に舌鼓。「おいしい」「あさがプリプリしている」などの声が、あちらこちらから上がりました。

食事の後は、楽しみにしていた潮干狩り。「楽しかった」「アメフラシがいたよ」などと話す子どもたちの顔は輝き、地元の海と親しむ貴重な時間となりました。



▶地元の海岸で潮干狩り

## 藤尾山登山活動 (田原南部小学校)

田原南部小学校の裏山には、標高200m余りの藤尾山があります。落ち葉が積もり、木々の葉がなくなる冬は、藤尾山登山が始まる季節です。「今年は、Aコースに挑戦だ!」「Tくんには、負けないぞ!」「山登りカードを全部うめるよ!」などの声が聞こえてきます。

子どもたちにとっては、まさに心と体を鍛える絶好の機会となっています。一人ではできないことでも、みんなで一緒に頑張ることで、やり遂げる大切さや喜びを実感しているようです。

※山登りはA～Cの3コースがあり、山登り週間の前半は学年によりコースを決めています。後半は選択制です。



▶みんなで藤尾山登山

## 地域とともに海岸清掃 (東部中学校)

東部中学校では、生徒会・PTAから、生徒・保護者の皆さんに呼びかけて、毎年「表浜自然ふれあいフェスティバル」に参加しています。太平洋の大海原を眺めながら、久美原から大草まで6kmの海岸を清掃しています。

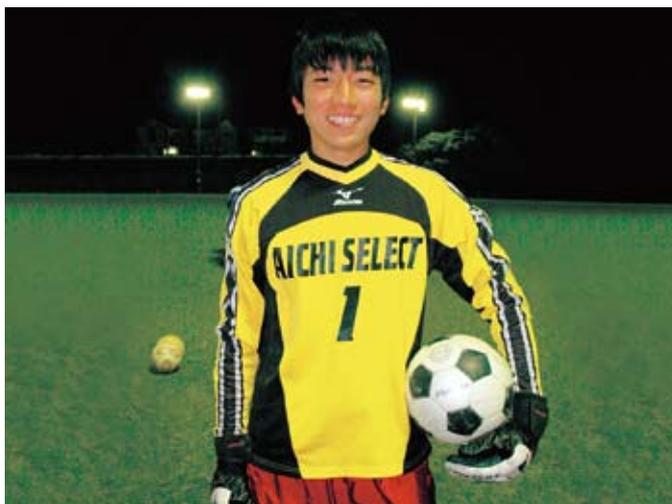
本年度は、東部中学校から約400名が参加しました。清掃のほかにも、ビーチフラッグスなどのイベントがあり、生徒からは「気持ちよかった。来年も参加したい」という声が上がりました。地域の一員としての自覚が芽生えてきたと感じました。



▶表浜で海岸清掃とビーチフラッグス

2月28日 土

夢は大きく  
サッカー選手



ゴールキーパー  
▲ポジションはG K。3月には県サッカー協会から表彰されました

田原市のサッカーチーム、T.A.H.A.R.A.  
FC所属の大羽千尋選手(高松小6年)が、  
日本サッカー協会の「U12東海トレセン研  
修会」に招集されました。愛知県勢8名中、  
東三河からは唯一の選抜。東海4県の好選  
手たちと練習を共にし、刺激を受けました。

2月15日 日

チームワークで  
勝利をゲット!



▲ボールの代わりに布製のフリスビーを投げ合うスポーツです

第9回田原市ドッチビー大会が渥美運  
動公園屋内競技場で開催され、20チーム約  
240名が参加しました。ドッチビーは、ニ  
ュースポーツの一つで、男女混合チームや  
親子チームなどで参加し、気の合う仲間と  
気持ちの良い汗を流していました。

2月20日 金

里山の恵みを  
生かそう



▲「楽しく使って」と話す田原東部校区総代の高橋さん(左)と鈴木市長(右)

田原東部コミュニティ協議会による東部  
里山公園炭焼き窯の開所式が、東部里山公園  
で行われました。里山整備で伐採された樹木  
などが窯で焼かれ、出来上がった炭は併設す  
るバーベキュー設備で活用されるほか、希望  
者に無料で配布されます。



# 田原市民活動支援センターのページ

3/1(日)、田原の市民活動を紹介する『第2回 しみんのひろば』が好評開催されました!

田原文化会館を賑わす30団体による活動展示&発表。  
「えいえい、おー!」で気合を入れて、いよいよ開始です。

「この会場は立地条件に恵まれ、盛況だね」と、市外からの見学者が感心していました。主催はしみんのひろば運営委員会。会議の進行や当日の運営をすべて行いました。



えいえい  
おー!!

ログって展示  
一緒に演奏!



活動発表!  
亀の子隊



新しい取り組みは、それぞれのアイデアで創り上げた「活動発表会」でした。文化ホールでは、10団体が特色を生かした発表を行いました。

市民活動支援センターと総務課市民協働係は、通信などの基本的な運営に力を出しました。

また当日センターでは、次年度から始まる田原市の「市民協働まちづくり事業補助金制度」の説明会を含む『第2回 合同相談会(テーマ:助成金・補助金制度)』が開催されました。

今月号の市民活動ニュースの掲載はお休みします。これからも皆さんの新年度活動計画や活動紹介をどんどん掲載していきます。投稿をお待ちしています!



市民活動支援センターでは開設時(毎週金・土・日午後2~7時)にはいつでもNPO・市民活動相談などを受け付けています。田原文化会館フリースペースにお越しください。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です!

\*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 総務課市民協働係 TEL: 0531-23-3506 FAX: 0531-23-0180 Email: somu@city.tahara.aichi.jp  
紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター



# 募集

WANTED

## 結婚相談員

▼募集人員 2名 ▼対象 結婚相談事業に対して意欲があり、土・日曜日・祝日に勤務可能な方 ▼勤務条件 個人情報情報の守秘義務を遵守すること ▼勤務内容 結婚の相談対応、見合いの仲介など ▼採用期間 4月1日～平成24年3月31日  
▼勤務形態 週5日程度／午前8時30分～午後5時15分 ▼勤務場所 ふれあい相談センター（田原デイスーパーセンター内） ▼賃金 時給810円 ▼選考方法 面接・書類

選考（詳細は後日通知） ▼申し込み 3月24日（火）までに社会福祉協議会で配布する履歴書（ホームページからもダウンロード可）に必要事項を記入のうえ提出（土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時）  
▼社会福祉協議会地域福祉課  
☎ 23局0610 FAX 22局7788  
HP <http://tahara-shakyo.or.jp/>

## フラワー作品コンテスト出展者 フラワー教室参加者

4月19日（日）に開催する第6回市民緑花まつりの中のイベント「フラワー作品コンテスト」の出展者と「フラワー教室」の参加者を募集します。

### ① フラワー作品コンテスト

▼募集作品 寄せ植え（鉢など、置くタイプの容器で50cm四方以内）  
▼募集点数 50点（一人2点まで／先着順） ▼出展料 無料 ▼その他 優秀作品には賞品があります。



### ② フラワー教室

▼教室名・時間など 表のとおり

▼場所 田原文化会館 ▼その他 完成した作品は、お持ち帰りいただけます。

### ●申し込み

①②のいずれも4月13日（月）までに電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は住所・氏名・電話番号・参加希望部門・教室名を明記）

教室名	時間	参加料	定員
ハンギングバスケット教室 講師▶ガーデリア・ジジ	10:00～10:40	1200円	20名 (先着順)
コンテナガーデン教室 講師▶ガーデリア・ジジ	13:00～13:40	800円	30名 (先着順)
ハーブリース教室 講師▶金田由起子さんほか	11:00～11:50 13:30～14:20	500円	各20名 (先着順)
フラワーアレンジメント教室 (フラワーラッピング) 講師▶シルビアフラワーデザイン優花	10:30～14:00 (随時参加できます)	500円	50名 (先着順)

### ▼公園緑地課

☎ 23局4103 FAX 23局0180

koen@city.tahara.aich.jp

# 生活

Life

## 春の交通安全県民運動 4月6日～15日水

新しい生活が始まる4月。通学路に慣れない新1年生が、交通事故に遭うことが心配されます。

また、田原市内では最近、高齢者の交通事故が多く発生しています。

ドライバーの皆さん、子どもや高齢者を見かけたら、思いやりのある運転心がけましょう。

### ●重点目標

▼子どもや高齢者を交通事故から守ろう

▼すべての座席のシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう

▼自転車の安全利用を進めよう

▼飲酒運転を根絶しよう

### ▼総務課

☎ 23局3504 FAX 23局0180



# 市役所時間外窓口

4月1日から、開設日時を変更します。

## ■市民課

平日の午後5時15分～7時まで開設していた窓口を、土曜日の午前8時30分～午後0時30分に変更します。詳しくは次のとおりです。

開設日時 (4月1日～)	毎週土曜日(年末年始を除く) 午前8時30分～午後0時30分
取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種証明書の交付 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸(除)籍謄抄本</li> <li>●印鑑登録</li> <li>●戸籍届出書受領</li> </ul>

住民票の写し・印鑑登録証明書については、電話で予約することにより、平日の時間外や土・日曜日、祝日に受け取ることもできます。詳しくは広報たはら3月1日号をご覧ください。

## ■税務課

3月31日で廃止しますが、各種証明書については、電話で予約することにより、平日の時間外や土・日曜日、祝日に受け取ることができます。詳しくは広報たはら3月1日号をご覧ください。

## ■福祉部(福祉課・児童課・健康課)

3月31日で廃止しますが、4月1日以降も事前に電話予約いただければ、平日午後7時までには個別に相談を受け付けます。お気軽にご連絡ください。

### ●お問い合わせ●

- ▶ 市民課 ☎ 23局3511
- ▶ 税務課 ☎ 23局3509
- ▶ 福祉課 ☎ 23局3512
- ▶ 児童課 ☎ 23局3513
- ▶ 健康課 ☎ 23局3515



HP <http://www.city.tahara.aichi.jp>

※詳しくはホームページをご覧ください。

- ▼入札場所 市役所600会議室(南庁舎6階)
- ▼対象車両 ①トヨタセルシオC仕様 ②トヨタクラウンロイヤルサルーンG(普通自動車・各1台) ▼申込期限 3月31日(火) ▼入札日時 4月10日(金) 午前9時30分

## ■公用車売却の入札申込期限を延長します

公用車売却入札への申し込みが期間内にありませんでしたので、期限を延長します。

## ▼財政課

☎ 23局3591 FAX 23局0180

## ■ぐるりんバス西浦循環線を休止します

ぐるりんバス西浦循環線(田原駅～西浦～田原駅/1日10便/土・日曜日のみ運行)を、利用者減少のため4月4日(土)から休止します。今まで西浦循環線をご利用の方は、並行して運行している童浦線をご利用ください。ご理解とご協力をお願いします。

## ▼総務課

☎ 23局3504 FAX 23局0180

## ■春の安全なまちづくり県民運動

4月1日(水)～10日(金)

地域の皆さんと防犯協会や警察が協力し合い、身の回りに危険を及ぼす犯罪を未然に防ぐ活動を行います。地域ぐるみで防犯活動を行い、安心して暮らせるまちを目指しましょう。

### ●重点目標

- ▼子どもが被害者となる事件・事故を防止しよう
- ▼住宅を対象とした侵入盗を防止しよう
- ▼自転車盗や自動車関連盗を防止しよう
- ▼振り込み詐欺の被害を防止しよう

## ▼総務課

☎ 23局3504 FAX 23局0180

## ■家内労働を委託している方は委託状況を提出しましょう

家内労働を委託している方は、家内労働者の人数や委託の内容などについて、労働基準局に報告しましょう。

- ▼基準日 4月1日(水) 現在
- ▼提出期限 4月30日(木) ▼提出先 愛知労働基準監督署豊橋署(豊橋市大岡町111)
- ▼愛知労働局労働基準部賃金課 ☎ (052)972局0258

# 寄付

DONATION

次の方々からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

- ▼2月3日、平成21年福江小学校地区厄歳一同様(代表 杉浦弘樹さん)から、福江小学校の教育環境向上のためオーブンロッカー1台、提示板2基。
- ▼2月9日、平成21年堀切地区厄歳一同様から、堀切小学校の備品充実のためワンタッチテント1張。
- ▼2月19日、中部電力(株)様から、緑化推進と地球温暖化防止のためエドヒガンザクラ90本。

# 広がる未来へ

35

\*たはらエコ・ガーデンシティ構想

## ●ライトダウンキャンペーン

2月の省エネ月間に合わせて、ライトダウンキャンペーンを行いました。これは事業所などのエネルギーの使用量を減らし、地球温暖化防止の活動を広げるための取り組みです。市内の多くの事業所にご参加をいただき、大きな成果がありましたのでご紹介します。

### 【実施結果】

- 期間 15日間(2月1日～15日)
  - 参加事業所 73事業所
  - 削減電力量 1時間あたり約4万3000kw
  - CO2削減量 約2万9000kg
- ※原油にすると約1万1000リットルの削減(ドラム缶55本相当)

### 【主な実施内容】

- 休憩時間・事業時間前後の消灯
- 社員による家庭での実施呼びかけ

消灯のほか、照明器具の清掃やノーカーデーの実施、冷蔵庫の省エネなどにも取り組んでいただきました。ご協力ありがとうございました。

家庭でできる省エネでお勧めしたいのが、白熱電球から電球型蛍光灯への切り替えです。

最近では、白熱電球と同じ明るさで、消費電力が約4分の1、電球の寿命が約4倍になる電球型蛍光灯が販売されています。価格は、白熱電球よりも少し高めになります。特に長時間点灯する部屋で使うと電気代が安くなり、電球の交換回数も減らすことができます。

電球を交換する際には、ぜひご検討ください。



**今月のエコライフ標語**  
**緑ある 未来のために**  
**エコライフ**

● たはらエコチャレンジ宣言登録者数 個人178人・事業所3か所(2月末現在)

### ▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



## 省資源のリサイクル

もやせるごみは、再利用されているのをご存じですか？今回は、もやせるごみを出すときに気をつけてほしいことなど、もやせるごみについてお知らせします。

### もやせるごみから炭ができます

炭生館では、もやせるごみを、蒸し焼きにして炭を作っています。できた炭は、燃料や保温材料として使われています。

炭生館は、自由に見学することができますので、お気軽にお越しください。

炭生館 <http://www.gsf-tansekkan.co.jp>

### 生ゴミを減量しよう

生ごみは、コンポストなどの処理容器や電気式の処理機を利用して、自家処理することができます。処理容器などの購入に対して、補助制度がありますので、ご利用ください。

※詳しくは、清掃管理課へお問い合わせください。

### もやせるごみの出し方は？

● 台所のごみは、水をよく切る燃やすときに使用する燃料が少なくなります

● 長いひも状のものは、30cm以内に切る

● 長いままだと、機械からまわり故障の原因となります

● 缶などの金属を入れない機械が破損し、故障の原因となります

● 大型(40cm以上のものは、粗大ごみとして出す機械が破損し、故障の原因となります

### 清掃管理課

☎23局25508 FAX23局0180



ゴミとリサイクルレンジャー

# 交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶企画課 ☎23局3507

## 田原市での暮らしもこれで安心！「ウエルカム・キット」

今回は、田原市が配布している「在住外国人向け情報資料」をご紹介します。

### ●田原市を訪れた外国の方をサポート

田原市では、外国の方の転入時に、市での生活情報や基礎情報が入った「ウエルカム・キット」をお渡ししています。キットには、ごみの分け方や緊急時の対応など、田原市での暮らしに必要な情報が、英語・中国語（一部韓国語・ポルトガル語）に翻訳されて収録されています。

このキットは、転入時だけでなく、必要な方に随時配布しています。市役所市民課または企画課、渥美支所市民生活課でお渡ししますので、皆さんの周りに必要だと思う方がいましたら、ぜひご紹介ください。



▲ウエルカム・キット(見本)

田原市ミニ要覧、ごみカレンダー、防災マップなどが収録されています。このほか、田原市観光マップや児童館パンフレットも、必要に応じてご用意いたします。

忍びよる巨大地震

のりんの

## 防災まめ知識

46

緊急地震速報の受信装置を公共施設に設置しました



こ んにちは、のりりんです。

田原市では、市の公共施設に「緊急地震速報」の受信装置を設置しました。

### ■緊急地震速報とは？

地震発生時、震源近くで最初の小さな揺れをキャッチし、規模や震源を予測します。それを、大きな揺れが始まる数秒〜数十秒前にお知らせするものです。



### ■どこに設置したの？

市役所や支所、小学校、中学校、保育園、市民館、文化会館、図書館、児童センター（児童館含む）など、114か所に設置しました。

### ■どうやって知らされるの？

各施設の館内放送や受信装置（親機・子機）からお知らせします。

### ■どのように放送されるの？

例 地震、震度4、15秒後、ビービー（警報音）、10、9、8…（カウントダウン）：1、0

※震度3以上の揺れが予想される場合のみ放送されます。  
※必ずしも10秒以上の余裕があるとは限りません。

### ■知ったらどうするの？

速報の放送から強い揺れが来るまで、わずかな時間しかありません。身を守ることを第一に考え、周囲の状況に応じて、慌てず、落ち着いて行動することが大切です。

### ■緊急地震速報には限界があります

震源に近い場所では、速報が間に合わないことがあります。また、実際の震度や揺れるまでの予測時間に、誤差が生じることもあります。速報がなくても地震が発生することがありますのでご注意ください。

▼防災対策室 ☎23局3548

# 歴史探訪

## クラブ

其の 96

History Inquiry Club



文化振興課 ☎23局 3635  
FAX 22局 3811

### 発見 新しい縄文時代の遺跡

石神町の石神交差点南の高台にある「平野貝塚」は、昔から貝塚であることが知られています。大正時代から、渥美半島で最も大きな貝塚といわれ、

貝塚周辺からは縄文時代の石器や、弥生時代の土器が採集されてきました。

平成20年12月、下水道工事に伴い発掘調査が行われ、貝層下の黒い土の層か



▲石器と土器を発見

古墳時代の土器や鎌倉・戦国・江戸時代の茶わんなどが混ざって出土していますので、縄文時代の貝塚であることは証明できません。名称は「平野遺跡」としたほうが誤



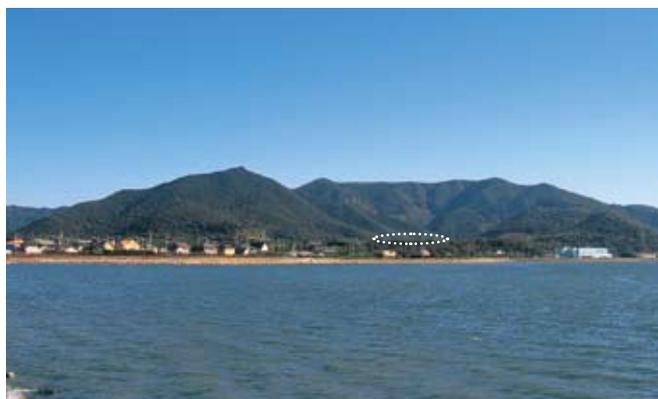
▲約5500年前の土器

ら、縄文時代前期の石器や土器が出土しました。土器の文様から、平野貝塚は約5000～5500年前（縄文時代前期後半）の遺跡で、近畿・関東地方でも見られる文様もあったことから、その地方との交流があったことが分かりました。

しかし、貝層からは、縄文・弥生・

解を招かないかもしれませんが、海に面していることと、広い範囲で縄文時代の遺物が見つかることから、貝塚が築かれていた可能性があまりあります。

石神交差点付近には、ほかにも縄文時代中期の北屋敷貝塚があります。この貝塚は、標高3mほどの低地にあります。平野貝塚は標高14・5mほどの台地にあります。同じ縄文時代で、近くの貝塚であるにもかかわらず、なぜ平野の縄文人は高台に住んだのでしょうか。



▲平野貝塚の位置(点線で囲んだ部分)

平野の縄文人が住み着いた縄文時代前期は、1万5000年前から始まった温暖化のピークで、氷が溶けて現在より海面が数m上昇していました。年々上昇してくる海面に、恐怖を感じた人々は、高いところに生活の場を構えたのかもしれませんが。一方、北屋敷に暮らし始めた縄文時代中期には、海面や気温も戻り安定したため、低地に移動したと考えられます。

今回の発掘調査では、遺跡が広い範囲にわたりよく残されていたことと、吉胡貝塚や伊川津貝塚、保美貝塚よりも、さらに古い時代の遺跡が存在したという大きな発見がありました。泉校区ばかりでなく、田原市の歴史を塗り替える大きな成果でした。

(増山)

### 今月の「表紙」

▼例年より一週間以上も早く開花したカワヅザクラ。桜の幹には、それぞれネームプレートが取り付けられ、地元の方々により大切に育てられています。陽気に誘われて、桜並木を散歩する人は皆笑顔。沿道を行き交う人の心にも、温かな春の便りを届けてくれたようです。(〇)

【表紙の写真】免々田川沿いのカワヅザクラ(福江町)